



# ABGICニュース

## 淡路少年少女発明クラブ

### Awaji Boys & Girls Invention Club



### 2019年度 淡路少年少女発明クラブ開始式 4月6日(土) 淡路市立中央公民館



2019年度(第30期)の開始式が、4月6日(土)に淡路市立中央公民館で行われました。

本年度のクラブ員は男子21名、女子9名の計30名でスタート。昨年度からの継続が14名と多く、洲本市からの参加も7名となりました。

ものづくりに興味のあるクラブ員達とともに、充実した活動が期待できそうです。

開始式には宗会長をはじめ、指導員や保護者とともに大勢の方が参加してくださいました。

開始式終了後は、ものづくりの基礎となる図面の書き方を学んだ後、厚紙を使った箱作りとサイコロ型パズルを作りました。

また、基礎工作②では、動く鳥を作りながら、木工の基礎を学びました。発明クラブを通して、ものづくりへの喜びを経験し、未来の技術者を志す人に育ってほしいと願います。

### 科学技術週間に ちなむ記念講演 4月20日(土)



今年度の科学技術週間にちなむ記念講演は、藤川卓爾指導員が“エネルギーの話”をテーマに講演をしました。

エネルギーって何? エネルギー利用の移り変わり等、詳しく講演をしてくださいました。

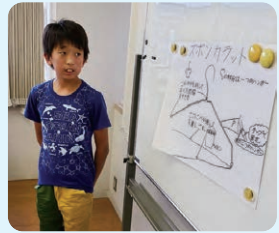


### アイデア工作への取り組み 6月15日(土)~現在進行中

6月15日(土)のアイデア工作発表会から選ばれた5人のクラブ員たち。指導員や家族とともに協力して、現在もアイデア工作づくりが進行中です。

試行錯誤を繰り返しながら、段々と完成に近づいてきています。9月28日(土)には作品の説明書を作成して、アイデア工作进行を完成させます。

課題工作グループのクラブ員も、各家庭で作品づくりをして出品を目指しています。引き続き、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。







# 8月8日(木) 島外体験学習

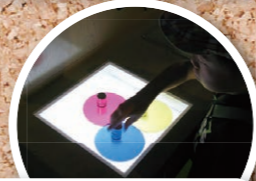
▶ あすたむらんど徳島  
▶ 大塚製薬 板野工場



8月8日(木)に、徳島県にある「あすたむらんど徳島」と「大塚製薬 板野工場」にて、島外体験学習を実施しました。

クラブ員とその兄弟など28名、保護者と指導員16名、合計44名が参加しました。この日が来るのを楽しみにしていたクラブ員も多く、とても貴重な体験をすることができました。

## あすたむらんど徳島



## 大塚製薬

ソイカラ



行程表	出発 淡路市役所	津名一宮 IC	休憩 淡路島南PA	板野 IC	あすたむらんど徳島	大塚製薬 板野工場	板野 IC	休憩 淡路島南PA	津名一宮 IC	到着・解散 淡路市役所
-----	-------------	------------	--------------	----------	-----------	--------------	----------	--------------	------------	----------------

## クラブ員の感想

～印象に残った体験や工場見学で分かったことなど～

クラブ員の皆さんは見学中に熱心にノートに記録をしていましたが、その中でも感想を書いていた人の文を本人の書いた通りに掲載しています。

### 新垣 七琉子

大豆はいろんなたべものに入って人びとの体に入っていくのだなと思いました。大豆は畑の肉のように、えいようがたっぷりなんだと思いました。

### 濱田 茜

ソイジョイやソイカラのことを知ってよかったです。こうしょうは、とても大きかったです。

### 丸林 東真

ほくは、ムーンウォーカーがたのしかったです。どうしてかという、月にいったらこういうかんじにとべるんだと思ったからです。工場のひろさは、やきゅう場が6つはいるんだとびっくりしました。

### 岩坪 樹

かがくかんでは、よしのがわめぐりが楽しかったです。おもしろかったところは、2回目のかえりがウォーターライダーみたいだから。工場見学では、いろいろなことをおしえてくれました。ほくがしらないことをおしえてくれました。

### 澤田 茅弥

ほくが大つかせい薬に行き分かったことはSOYJOYの作り方についてです。とくに、やいた後長時間ひやして食感を良くするというところにおどろきました。SOYJOYやソイカラの作り方がわかり、勉強になりました。

### 澤田 和於

僕は今回の島外学習に行って、大塚製薬のSOYJOYの工場見学が楽しかったです。心に残っているのは、工場に入った時のいいにおい。また、きつねが工場のしきちに入ってくることもおどろきました。ベルトコンベアーのれいきやくシステムに関しては場所をとらずにれいきやくしている所に感心しました。

### 奥田 蓮

大塚製薬に行き分かったことは、今のんではポカリやオロナミンCを作っているなんて知りませんでした。ソイジョイもつくっていました。1日90万本つくってびっくりしました。きかいのそうじをしていた人がゴミが一つもなくて、びっくりしました。また行きたいです。

### 川添 徹

いろいろながくやつくり方などがじっけんなどでためせておもしろかったです。うちゅうクイズをやって、うちゅうへのきょうみをもちました。おつがせいやくでは、日本の大豆のたべりょうと、アメリカの大豆のたべりょうのさでおどろきました。大豆は世界のためにつくられているということが、わかりました。

### 東 珀斗

ほくが一番に残っているのは吉野川めぐりです。水がいっぱいかったのでおもしろかったです。ほくは生命科学館でいろんなことをやりました。それは自分の足の速さをはかるものと自分のとんだきょりははかるものもやりました。とてもおもしろかったです。次に工場に行きました。SOYJOYとソイカラの事を教えてもらいました。思いでに残る1日でした。

### 野崎 慈府

アスタムランドは、たいけんや遊び場があって、ほくの中では車いす体験コーナーで、もしも足をいためた時に車いすに乗らないけなくて、でこぼ道やしょうがいぶつとかがあるのだと思いました。ソイカラは何で作っているかはわからなかったけど、こうしょう行ってわかったのでよかったです。

### 坂本 蒼磨

子ども科学館では、宇宙でジャンプする体験や、カブト虫やクワガタ虫をたくさんさわって、吉の川めぐりの下りで急こう下した時が、とてもスリル満点で水がかかった時がとても楽しかったです。大塚製薬では、工場見学で機械が止まっていたけれど、見れたし、えいぞうや、ポカリのアニメを見たりしました。アスタムランドも、大塚製薬も両方楽しかったです。

### 紙田 蒼一郎

子ども科学館では、いろいろな科学を学べる所と、カブトムシ、クワガタムシとふれあえるところがありました。とても楽しくて、とてもおもしろかったです。とくにいろいろな科学を学べる所が、一番楽しかったです。また行ってあそびたいです。あと、そこで学んだことを活用したいです。大つか製薬では、ソイジョイの作っている方法や、作っている機械、えいぞうを見たりしました。中でも一番すごかったのは、作っている機械です。わけは、とてもまがせいみつ機械で、とてもかっこよく、すごいからです。また、大つか製薬に行き、見学したいです。

### 川添 寛太

今までは、大塚製薬は「薬」だけ作っていると思っていました。今回はソイジョイやソイカラといった大豆の栄養食品を、食品衛生や地球かん境問題と向き合い、しっかりとした衛生管理や、包装材の無駄の削減などの様々な工夫があり、すごいと思いました。





## 課題工作への取り組み

6月22日(土)～現在進行中

6月22日(土)からスタートした課題工作。  
電流イライラ棒からはじまり、背付きイス、竹笛と、色々な課題工作を作ってきました。

来月からは、動く工作②「縄跳び人形」、動く工作③「ストローヘリコプター」を作ります。

色々な仕組みを工作しながら楽しく学んでいきます。

引き続き、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



## 事務局担当者のご紹介



淡路市立中央公民館  
館長

平野由香様

みなさん、こんにちは。社会教育課の平野です。

淡路少年少女発明クラブのみなさんが楽しくクラブ活動をされている様子を指導員の先生からうかがっています。

将来の夢につながるよう、これからもがんばってください。

発明クラブの本棚にもあります♪

発明が楽しくなる!

おすすめ本



小学生の自由工作  
かんたん! すざい!!  
アイデアBOOK



「かざれる」「たのしい」「おしゃれ」「びっくり」の4つの工作別に分かれていて、とても見やすい工作の本です。

難しさのレベルや時間が書かれているので、自分に合った工作が選びやすくなっています。

型紙が必要な工作も記載されていますが、型紙も記載されていますので、拡大コピーですぐに使えるようになっています。

小学生はもちろん親子でも楽しめる一冊です。

単行本/111頁 出版社/成美堂出版 発行日/2011年6月20日

## 協賛企業のご紹介

淡路少年少女発明クラブに協賛企業としてご支援をいただき、誠にありがとうございます。



ミツ精機株式会社



株式会社三和製作所



ムネ製薬株式会社



山本光学株式会社



株式会社ツダ



淡路少年少女発明クラブ ABGICニュース 2019年(令和元年)9月7日発行

●事務局/淡路市立中央公民館(しづのおだまき館)  
●TEL/0799-62-0157 ●FAX/0799-62-6844  
●編集委員/丸林貴博、廣瀬幸治、堀口 純

●住所/〒656-2131 兵庫県淡路市志筑3117-1  
●ホームページ/http://www.abgic.com/